

事務事業名	妊産婦乳幼児個別健診事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
政策名	総合計画体系	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	総務G	課長名	上村博子
施策名		(17)健康づくりの推進	担当者名	狩野恵	電話番号 (内線)	0854-40-1045 3630
基本事業名		(049)病気の早期発見・早期治療の推進	予算科目	会計 款 項 目 中事業	妊産婦乳幼児個別健診事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	妊婦・乳児の一般健康診査に係る経費を一部行政が負担。妊婦一般健康診査：計14回、乳児一般健康診査：前期(1ヶ月頃)後期(6~8ヶ月頃)計2回、子宮頸がん、超音波検査経費も負担する。県外等委託医療機関以外での受診の場合も償還払いによる助成を行う。乳児、幼児(1歳6か月児、3歳児)の精密検査に係る本人負担分についても償還払いにより対応する。	母体や胎児の健康確保を図るため、また少子化対策の一環として、妊婦中の健診費用の負担や妊娠・出産にかかる経済的不安を軽減し、少子化の解消の一助に資するために開始された。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要) (単位:千円) 需用費112、役務費430、委託27,979、補助金658	事業費	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
			事業費計(A)	千円	25,838	27,380	29,179	31,934	31,934	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等) 妊娠届出時の受診券交付 月毎の実施件数及び内容の確認、委託料の支払 償還払いの場合の該当者への案内、支払手続き	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	人 時間 千円		15 487 1,857	15 487 1,893	15 487 1,920	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			27,695	29,273	31,099	31,934	31,934	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ★妊産婦乳幼児個別健診 ■妊婦:計459人 健康診査回数 3,160回 ■乳児:計280人 前期 279人 後期 198人 24年度計画(24年度に計画している主な活動) ★妊産婦乳幼児個別健診 妊婦(1回~14回) 乳児(前期・後期)	⑤活動指標								
		ア	受診券発行人数	人	312	250	277	300	300	
		イ								
		ウ								
		エ								
		オ								

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	妊娠届を提出した妊婦及び乳幼児	⑥対象指標							
		ア	妊娠届提出者人数	人	312	250	277	300	300
		イ	出生届提出者人数	人	274	298	294	300	300
上位目的	③意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦成果指標							
	母体及び胎児の健康確保。経済的な負担を軽減。	ア	妊婦一般健康診査受診延人数	人	1560	3160	3408	3000	3000
		イ	乳児一般健康診査受診人数(前期・後期)	人	448	477	475	480	480
		ウ							
	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標							
	心身ともに健やかに育つ	ア	子育てしやすい環境だと感じる市民の割合	%	57.9	51.1	49	50	50
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
近年、ストレス等をかかえる妊婦が増加傾向にあり、就業等の理由から健診を受診しない妊婦もみられる。母体や胎児の健康確保を図る上で、妊婦健康診査の重要性が高まっている。平成19年度地方財政措置で少子化対策の総額拡充の措置がなされ、健診にかかる公費負担の増がなされた。	妊婦一般健康診査の公費負担回数については、国から地方交付税に算定されている5回程度の公費負担が望ましいとの指針を受け、5回分の負担を行っていたが、H21年度からは国による更なる財政措置をうけ14回に拡充を図っている。	H21年度から公費負担対象が14回(全健診)となり対象者に喜ばれている。

事務事業名	妊産婦乳幼児個別健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 健全な出産、育児を確保することは、行政課題のひとつである。また少子化対策のひとつにも位置づけられている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 健診機会の提供による妊婦及び乳児の健康の確保を補償することが少子化対策の一環ともなっている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 対象については、妊婦及び乳児で適当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 健診率の向上のために委託検査機関の拡充や健診の重要性を今一度周知する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 少子化に拍車がかかるのに加え、健全な出産、育児等への影響が大いに考えられる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 乳児健診においては集団健診(4ヶ月健診、10ヶ月健診)との連携が検討できるが、より身近な医療機関で自由な日に受診できる面からも連携は難しい
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 委託料(健康診査費)が予算の大部分を占め、委託額については県の統一単価を使用しているため、削減の余地なし。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 人件費的には、すべて委託で行っているため事務的経費のみである。よって削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 少子化対策の点から、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ 妊婦健診について公費負担の回数を拡充した。(5回→14回)																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特記事項なし																									